

yamada@tku.ac.jp

シンポジウム

わたしの描く
未来の松本まるごと博物館

山田 晴通(東京経済大学)

yamada@tku.ac.jp

2014.11.16.

可視化の場

- 地域文化の可視化の場としての「博物館」
 - 地域外の人々へ⇒娯楽・観光の側面も
 - 地域内の人々へ⇒教育(学校・社会)
- 町中(まちじゅう)で、地域文化を可視化する「まるごと博物館」
 - ⇒ 建物の中にとどまらない、
 - 町中(まちなか)における可視化＝展示

可視化の場

山田晴通(2014)

「地域文化の観光資源化に関する政策提言の
ための理論的枠組」

コミュニケーション科学(東京経済大学), 40,
pp.43-57.

* ネット上でも公開しています。

ひとつの提案

- 実績のある行事⇒展示施設

ひとつの提案

- 実績のある行事 ⇒ 展示施設
- サイトウ・キネン・フェスティバル松本
= セイジ・オザワ松本フェスティバル

⇒ 「小沢征爾音楽博物館」
を松本に作れないだろうか？

音楽博物館の現状

- 音楽関係者は、博物館などより、ホールやオペラハウスに情熱を傾ける。
- 諸外国に比べ、日本の音楽博物館は貧弱。

音楽博物館の現状

考察の対象：=====

博物館法上の博物館は、**わずか4館**か

米国の中規模以上の施設に相当：

古賀政男音楽博物館

民音音楽博物館

米国の小規模施設に相当：

浜辺の歌音楽館（作曲家 成田為三）

堀江オルゴール博物館（個人収集から）

音楽博物館の現状

- 音楽関係者は、博物館などより、ホールやオペラハウスに情熱を傾ける。
- 諸外国に比べ、日本の音楽博物館は貧弱。
- 個人記念館から、音楽博物館へと成長し得る「のびしろ」のある主題が大切
⇒ 「**小沢征爾音楽博物館**」

小沢征爾音楽博物館

- 小沢征爾について
- フェスティバルについて
- 齋藤秀雄など、関連する音楽家について
- 信州と音楽の伝統的な結びつきについて

これからの博物館の課題

- ネットワーク化: システムとしての博物館群

機能の分担

連繋の担保

これからの博物館の課題

- ネットワーク化: システムとしての博物館群
- 有限な予算と人材

採算性をめぐる「哲学」

民間ミュージアムに学ぶべきこと

そればかりではないこと

これからの博物館の課題

- ネットワーク化:システムとしての博物館群
- 有限な予算と人材
- 懐古趣味である必要はないが、むしろ古いシステムとして引き受けるべき役割も...
実は最も採算性の議論と遠い

- 会員アンケート:74通 30%の回答
- 60代以上が77%
- 施設利用回数 1回-10回以上とばらつく
- 展示の満足度70%以上
- 友の会の事業
- 58%が参加経験
- 満足度 40%
- 今後希望する事業、ボランティア希望 27%
- 未来の松本博物館
- 幅広く声があり多岐にわたる機能への期待
- その他の意見: 39%が記入

yamada@tku.ac.jp